

令和7年10月29日(水)

令和7年度 第2回 学校運営協議会 別冊資料

1. 本日の授業参観にあたって

- ① 年々、黒板の右側にスクリーンを写して、様々な資料を提示したり、デジタル教材等を用いた授業が増えています。生徒にとって分かりやすい授業、不必要な部分は時間短縮がされた授業となることが目指されています。
- ② 昨年度より、全学年の生徒が同一機種のクロームブック（1人1台端末）を各自で購入し持参しております。授業では、その端末を用いて調べものの学習をしたり、課題を先生から受け取ったり、その課題を提出したり、生徒同士が協働で考えをまとめたり、発表資料を作成したりするなどして、「主体的・対話的で深い学び」や探究活動を行っています。

具体的には、

- ①「言語活動、観察・実験、問題の発見・解決」の質を向上させる
- ②「振り返る場面」や「グループ活動」「考える場面」を教員が組み立て設定する
- ③生徒が「見方・考え方」を自在に働かせる活動を行う
- ④基礎的・基本的な知識技能の修得を図る
などが挙げられます。

※本日の授業参観の参考にしていただければと存じます。

2. 授業改善に向けての本校の取組

- ①生徒による授業評価アンケート（1学期の結果については次ページ以降参照）
年に2回、担当授業ごとにアンケートを実施し、教科会議で検討します。
項目については学校教育目標に基づき大枠を指示しています。
- ②校長による授業参観の実施
6月から11月までの半年かけて、校長はじめ管理職が全教員の授業（非常勤講師を含む）を50分ずつ見学し助言をしています。
- ③研究授業及び校内研修会の実施
10月24日（金）に県総合教育センターから指導主事を招き、研究授業と教科検討会、放課後には、全教員が参加して「発達支持的な生徒指導の充実」をテーマに研修を行いました。生徒が自ら自己指導能力を高めるための研修を行いました。

④公開授業及び授業検討会の実施

11月6日（木）に各教科で、アクティブ・ラーニング、ICT活用について研究・工夫した授業を、県内中高の教員に公開し、教科ごとの授業検討会において意見をいただきます。総合的な探究の時間の活動も公開しております。また、同日に浜松市教育委員会から指導主事が来校し、研究授業を実施します。

⑤年3回以上の授業参観または、外部研修会への参加

先生方はお互いの授業を見合うことにより、成果の普及（横展開）を目指しております。

3. 部活動の任意加入に向けて

全国的に高等学校での部活動の任意加入が求められており、本校においても検討しているところであります。実施された場合のメリットやデメリット、教育的効果、解決すべき問題点を論点整理しております。

4. 自転車ヘルメットの着用について

自転車に乗車する場合は、ヘルメットの着用が努力義務でありましたが、今後どのようにしていくのかを検討していきます。